

## 食の好みと性格の相関関係 ～エニアグラムによって導かれた高津生の真の姿～

家庭科班:金川 彩葉、山岡 美結、中村 和花、川向 一希、田畑 日陽里

### 要約

本研究の目的は、食の好みと性格の相関関係があるのかを明らかにすることである。そこで、高津生を対象として食の好みに関するアンケートと、エニアグラムを用いた性格診断を実施した。この調査によって、食の好みと性格に相関関係は薄いことがわかった。従って本研究では、食の好みと性格に相関関係はないことが結論づけられた。しかしこの調査の考察を深めていく中で、高津生の性格には偏りがあり、高津高校特有の性格タイプは高津高校のアドミッション・ポリシーと一致することがわかった。

### 1. はじめに

食の好みが多様であるように、人々の性格も多様である。この2つに相関があるというのを以前インターネットで見たことがある。そのことに興味を持ったが、情報が不確かであったため実際に調べてみたいと思った。

### 2. 研究手法

食の好みと性格の相関関係を調べる際に各個人の性格を詳しく知る必要があるため、エニアグラム診断を行う。エニアグラム診断とは人間の性格タイプを九つに分類することができるものである。診断に使う質問の例は、「いつも率直で正直でありたいと思っている」などである。また、甘味、塩味、辛味、苦味、酸味の5つに分類して、食の好みを調べた。私達は次のような仮説を立てた。甘味はタイプ9(平和をもたらす人)、タイプ2(人を助ける人)、塩味はタイプ7(熱中する人)、辛味はタイプ3(達成する人)、タイプ8(挑戦する人)、苦味はタイプ5(調べる人)、タイプ6(忠実な人)、酸味はタイプ4(個性的な人)、タイプ1(改革する人)である。

《実験》

- ①高津生を対象としてエニアグラムを用いた性格診断と、食の好みについてのアンケートを実施する。(回答者:高津高校2年生94人)
- ②2つのアンケート結果を比較し、食の好みと性格の相関を調べる。

### 3. 結果

《実験》

- 異なる味覚にもかかわらず、同じタイプの人が多い。  
→食の好みと性格に相関はない。

### 4. 考察

食の好みと性格に相関関係は無かったが、調査結果より高津生の性格に偏りがあることがわかった。高津生にはタイプ1(改革する人)、タイプ3(達成する人)、タイプ4(個性的な人)が多い。タイプ1は公正で正義を求め論理的である。タイプ3はリーダーシップがある。タイプ4は感受性豊かで個性的である。この性格の特徴は、高津高校のアドミッション・ポリシーと一致している。例えば、「高い基礎学力を持ち、目標達成のために学業に真摯に取り組む生徒」が、タイプ3(達成する人)の勤勉さに一致している。他には、「知的好奇心と探究心に溢れ、次代を担う人物となる気概のある生徒」が、タイプ1(改革する人)の常に問題意識や、課題解決するように心がける点において一致している。他の偏差値の異なる3つの高校のアドミッション・ポリシーに対応する性格タイプが多様で、高津高校と偏差値の近い学校は、タイプ3が共通している。つまり、タイプ3は高津高校と同等の学校の生徒に共通して見られる。また、他のタイプ1とタイプ4の性格は、高津高校特有の性格であることが分かった。

### 5. 結論

食の好みと性格の相関関係は薄かったが、研究結果より高津高校のアドミッションポリシーと高津生の性格が一致していた。このことからエニアグラムの信憑性が高いことがわかった。食の好みと性格の相関関係について私達がたてた仮説は主観的なもので根拠が無かったためか、結果とは異なっていた。そのため先行研究などを根拠にした仮説を立てる必要がある。また、結果に用いた円グラフは、複数回答があったため母数が異

なっており正しいグラフではない。そこで棒グラフで示すことで、複数回答の結果を反映させたグラフを作成しなければならない。また、他の学校においても、アドミッション・ポリシーと性格タイプが一致しているのかなど研究したいと思う。

## 6. 参考文献ならびに参考Webページ

日本エニアグラム学会「エニアグラム診断」<https://wwwenneagram.ne.jp>

味博士の研究所(2017)「味覚と性格は関係する！？好きな味と性格の傾向～基本5味編～」

<https://aissy.co/jp>